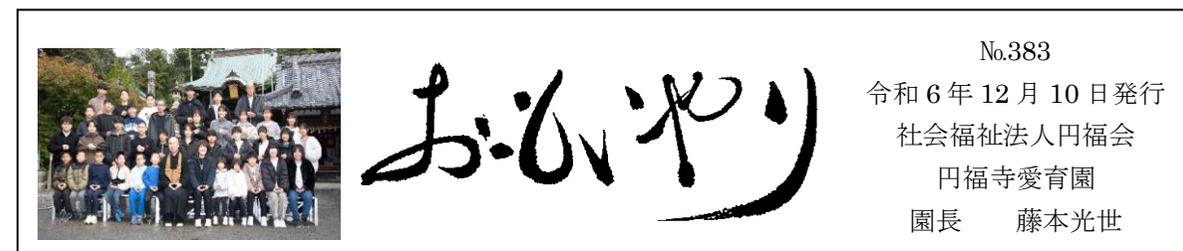


今年も修行の旅に行ってきました。



## 秋葉三尺坊権現

園長 藤本光世

今年の研修旅行先は、静岡県袋井市の可睡齋です。可睡齋とは不思議な名前でしょう。その由来は次のとおりです。徳川家康が幼少のころ今川義元の人質でこのお寺に預けられました。将軍になり教えを受けた和尚さんをお城に招いて、昔話に花が咲きました。するとこの和尚さんがなんと居眠りを始めたのです。おつきの人々が「けしからん」といきり立った時、家康が昔を偲んで「和尚<sup>ねむ</sup>睡<sup>べ</sup>る可し」とゆるしたことから「可睡齋」と名前が付いたそうです。「齋」はお寺のことです。

子どもたちに毎月美味しいお菓子のプレゼントをしてくださっている、静岡文化芸術大学の二本松康宏先生に可睡齋に行きますとメールすると、次の返信がありました。二本松先生は民話や神話をご専門なのです。

私のゼミは浜松市天竜区春野町で民話の採録調査をしていました。春野町には全国の秋葉神社の総本山である秋葉山本宮が鎮座しています。

その秋葉山本宮（秋葉大権現）は、江戸時代には「火伏せの神」「防火の神」として絶大な信仰を受けました。江戸の街には秋葉大権現を祀る原っぱが火災の延焼避けの空き地として設けられました。それが秋葉原です。

秋葉山本宮は、江戸時代には神職と修験と曹洞宗・秋葉寺の3勢力が山を守っていました。ところが明治の神仏分離令によって曹洞宗・秋葉寺が廃されると、秋葉山本宮における寺院としての祭祀は可睡齋へ遷されました。秋葉寺の本尊であった秋葉三尺坊権現も、現在は可睡齋に祀られています。

そして、その秋葉三尺坊権現は、なんと信州・戸隠の生まれと伝えられています。

このお話をもとに、子どもたちが車中を楽しむとともに、可睡齋について理解を深めてくれることを願いクイズをつくりました。皆さまもやってみてください。

1. 可睡齋の名前は、ある将軍の前で住職のお坊さんが居眠りをして、それをその将軍が許した

ことからつきました。ある将軍とは誰でしょう

- (1) 織田信長
- (2) 豊臣秀吉
- (3) 徳川家康

2. その将軍はお坊さんの居眠りをなぜ許したのでしょうか。

- (1) お坊さんが疲れていて可哀そうだったから
- (2) 子どもの時の先生だったから
- (3) 子どもの時に一緒に遊んだから

3. 可睡齋の本堂にある仏さま（ご本尊）は次のどれでしょう。

- (1) お釈迦さま
- (2) 観音さま
- (3) お地藏さま

4. 可睡齋には明治になって秋葉三尺坊権現が祀られるようになりました。秋葉三尺坊権現について質問します。

(1) 秋葉三尺坊権現は何の神様なのでしょう。

- ① 遭難防止 海で遭難しないように
- ② 縁結び いい人と結婚ができますように
- ③ 火災防止 火事にならないように

(2) 秋葉大権現は毎月お菓子をプレゼントしてくださっている二本松先生が研究している静岡県春野町に総本山があります。江戸時代には、火伏の神、防火の神として人々は秋葉大権現を信仰しました。当時秋葉三尺坊権現は江戸の秋葉寺にありました。なぜ江戸時代に秋葉三尺坊権現が江戸にあったのでしょうか。

- ① 火事が多かった
- ② 人が多かった
- ③ 家が多かった

(3) 秋葉寺は火事があったときに延焼避けの原っぱにありました。その原っぱは今は何と呼ばれているでしょう。

- ① 原秋葉（はらあきば）
- ② 秋原葉（あきはらば）
- ③ 秋葉原（あきはばら）

(4) 東京の秋葉原は、今は何かのお店がたくさんあることで有名です。そのお店は何でしょう。

- ① 電気屋さん

- ② お菓子屋さん
  - ③ ラーメン屋さん
  - (5) なぜ、秋葉山（あきはさん）秋葉寺（しゅうようじ）にあった秋葉三尺坊権現が、明治時代に可睡齋に遷されたのでしょうか。
    - ① 可睡齋がよこせといった
    - ② もとは静岡県の春野町にあった
    - ③ 明治政府の神仏分離令により、秋葉寺が取り壊された
  - (6) 秋葉三尺坊権現はどこで生まれたと伝えられているのでしょうか。
    - ① 静岡県 春野町
    - ② 宮崎県 高千穂の原（天照大神の子孫が天から降りて来た）
    - ③ 長野県 戸隠村
  - 5. 可睡齋のある静岡県袋井市は篠ノ井にゆかりのある人が生まれています。その人は誰でしょう。
    - (1) 通明小学校初代校長 小林全苗（ぜんみょう）先生
    - (2) 篠ノ井東中学校初代校長 塩野入忠雄（ただお）先生
    - (3) 通明小学校や篠ノ井東中学校などにたくさんの書がある 川村驥山（きざん）先生
- 答 1- (3)、2- (2)、3- (2)、4 (1) -③、(2) -①、(3) -③、(4) -①、(5) -③、(6) -③、5- (3)

## 1年を振り返って

主任指導員 TM

令和6年も残すところ1カ月となりました。4月に新年度を迎えてあっという間に12月になってしまいましたが、振り返ると日々の生活や行事を通して子ども達の大きな成長があった1年でした。生活のリズムを崩さず、それを毎日積み重ねて少しずつ力をつけていく様子や、キャンプや運動会や愛育園祭といった行事に夢中になる事で自分自身を成長させ、その成長を実感し、またその成長を表現できるまでになっている様子は本当に頼もしく、こうやって地力がついて心も育っていけば、やがて社会に出たときに立派に自立を果たせる！そういった期待感で胸がいっぱいになります。

先日、今年で4回目となる一泊参禅旅行に行ってきました。この行事は、お寺に泊まって、お坊さんのお話を聞いたり、坐禅をしたり、精進料理をいただいたり、日常とは違う空間で子ども達が何か学んだり感じてくれたらいいなあという思いで発案された行事です。また、2日目には観光地を訪れお土産を買ったり、日頃頑張っている子ども達を楽しませてあげたいという目的もあります。

今年は静岡県にある「可睡齋」というお寺に参禅に行きました。もう4回目にもなると、場所

が違って、みんなしっかり勝手がわかっていて、法話や座禅の時には気を引き締めて、休憩の時や就寝前は修学旅行気分がわいわい盛り上がりリラックスした時間を過ごしたり、そんなメリハリのある行動が自然と身についている所が素晴らしかったです。可睡齋の皆様には子ども達の為に丁寧な対応いただき非常に感謝しております。

今回、お寺での修行体験という事で、旅のテーマに『いま、ここ、自分』を設定しました。禅の世界では割と知られている言葉です。「過去を悔やんで未来を憂いてばかりでは何も状況は変わらないから今に目を向けて、どこか他の場所に救いを求めて幻想を抱くのではなく今いるこの場所に目を向けて、他人に自分を変えてもらおうとするのではなく自分自身に目を向けて、、そうじゃないと、ある一瞬は気持ちが楽になったとしても、結局はずっと迷いと不安の中で生き続け、あるいは一生自分に嘘をついていく事になってしまいますよ。」と、こんな意味があります。なかなか難しい事だと思いますが、私は少しでも「いま、ここ、じぶん」に集中した生き方ができれば、迷いや不安が無くなるばかりか、その中で、自分の良い所を見つけることができ、それが社会で生きて抜いていく為の武器になりうると思っています。今はまだ自分に自信が持てない子も、一つ一つ積み重ねて困難を乗り越えていけば必ず大きな自信を手にする事ができると信じています。

私たち職員の使命は子ども達の迷いや不安をできる限り取り除いてあげる事だと思っています。日々の生活の中でいち早く子ども達のつまずきに気づき声をかけたり、子どもの権利保障もパーマネンシー保障の取り組みもかえって迷いや不安を増幅にさせるようなものになってはならないようにする事などを心に留めて思慮深く日々子ども達と関わったり、そして私たち職員自身が「いま、ここ、自分」を大切に、子ども達が自分の生活に没頭できる環境を作ってあげたいと思っています。

愛育園には庶務業務をして下さっている先生がいます。その先生は、毎朝、勤務時間より早くいらっしゃってトイレや職員室や玄関など至る所のお掃除をして下さっています。玄関は掃き掃除でなく水拭きの雑巾がけで地面に膝をついてお掃除をされています。その先生はもともとからして気配りのすごい先生でいつも「すごいなあ」と思っていたのですが、お掃除をより熱心にされるようになったのは今年度になってからだと記憶しています。私には、より一層のその先生の姿が、愛育園の子ども達の為にいま自分ができる事を愛育園という場所で自分の使命や喜びとして黙々と行っている様に映り、なにか能力や器用さを超えた想いの強さを感じてとても刺激をもらいます。直接子どもと接する立場というわけでもないし、お掃除だって生活棟の方では無くて事務棟側だからその先生がそんなにお掃除をしてくれている事なんて子ども達には知られていません。でも子ども達には、その先生が愛育園の仕事に没頭してくれている事、つまり、自分たちの為に想いを持ってくれている事はしっかりと伝わっているのです。見てないのに関わってもらってないのに子ども達が想いをキャッチしているのが不思議だなあと思いつつも、それこそが真理

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

なような気もします。

令和6年の終わりを迎え、振り返ってみるとあらためて身近にいる私たち職員の子も達への影響の大きさと責任の重さを感じ、自分自身もしっかりとこの場所に根を生やして子ども達の養育に携わっていかうとより気持ちが引き締まりました。

ご支援いただいている関係者の皆様、本年中は大変お世話になりありがとうございました。来年も引き続き円福寺愛育園をよろしくお願い致します。

### 可睡齋参禅旅行

あおぞらホーム Y.S

11月23日、24日に毎年恒例の参禅旅行がありました。今年は静岡県可睡齋というお寺にて修行体験をさせていただきました。

毎年思うのですが、やはりお寺という場所はとても緊張する所です。自分自身が緊張している中で子どもたちも粗相がないように、でも楽しい思い出になるようにと心がけようと思っていました。子どもたちはトラブルや事故なども一切なく今年初めて参加した子どもみんな落ち着いた行動を一人一人心がけていて、さすが毎年参禅しているだけあってわかっているな、と感心しました。

二日目のお昼や買い物についても勝手な行動やルール違反の買い物などもなく、混んでいた中でも臨機応変に対応でき、時間的にもほぼすべての工程が時間通りに進むことができ、それも一人一人の気持ちのおかげだったな、と思いました。

今までの旅行の中では一番穏やかな旅行だったなと感じました、普段の生活にも生かされていられるようにしていきたいと思えます。



### 修行の旅 ～可睡齋～

あおぞらホーム K.A

11月23日、24日に静岡県袋井市にある「可睡齋」というお寺に一泊二日の参禅旅行へ行ってきました。可睡齋では坐禅の体験や、朝課の見学、お焼香の体験などをさせていただきました。4回目の修行の旅だったのもあり、子どもたちはみんな坐禅には慣れたもので、落ち着いて坐禅に取り組んでいる姿が見られました。また、一日目の夜には、「五観の偈」に関するご法話

(令和6年12月10日発行 月刊「円福」531号付録)

を聞かせていただきました。今まで、あまり気にしてこなかった「五観の偈」の内容についてのご法話を受け、改めて日々食事をとれることの有難みを感じることができました。

また、可睡齋での参禅研修が終わったあとは三保の松原へ行き、富士山を間近で見たり、海で遊んだりしてすごしています。長野県は海がないのもあり、子どもたちにとって海はとても珍しく、みんな楽しそうに遊んでいました。

散策が終わった後は「エスパルスドリームプラザ」という、商業施設に行き、昼食とお土産の購入をして帰ってきました。みんなそれぞれで気に入ったものを探し、個人個人で買い物を楽しんでいる姿が見られ、こちらもとてもうれしい気持ちになりました。

子どもたちにとっても職員にとっても、今回の研修旅行はとても意味のある旅行となったのではないかと思います。



### 可睡齋修行の旅

あおぞらホーム M・N

11月23日・24日と静岡県にある可睡齋というお寺で一泊二日の修行をしてきました。可睡齋はとても大きな敷地の中にあり、そこで何人もの修行僧の方がお勤めしていたことが印象に残るお寺でした。夕食後の法話では、食事の際に唱える「五観の偈」を分かりやすく教えていただき、そこでのお話が深く心に残っています。当たり前のように食べられること、それが普通のことであると思ってしまうくらい食に恵まれています。振り返れば様々な人のおかげで毎日美味しいご飯を食べられています。実際に、五観の偈の意味を理解してから日々の食事を思うと、感謝の気持ちとともに自分自身についても振り返ることが増えました。

一泊二日という期間での修行でしたが、ご飯の食べ方や掃除やお参りなど環境が変わっても動じることなく行っていた子どもたちを見て感心しました。何気なく過ごしている園での生活も子どもたちにとって大きな力になっており、そんな姿を旅行先でも見ることができたのが嬉しかったし、愛育園の子どもたちはやっぱりすごいなと改めて思う修行の旅でした。



## 可睡齋修行の旅

まごころホーム T・M

今年も修行の旅に静岡県の可睡齋というお寺に行ってきました。初めて参加する子どもも多かったため、少し不安な気持ちもありましたが当日になりみんなのいきいきとした表情を見たらその気持ちは吹き飛びました。Hちゃん(年長)とバスが隣の席だったのですが、バスでの移動が新鮮だったようで、高い目線から見る景色に興味津々でずっと窓の外を眺めていました。可睡齋に到着してからまず、今回の修行の説明を受けました。お寺での過ごし方や決まり事を教えてくださいましたが、色んな決まりがあり、その全てに意味があることを知ることができました。その後には法話をお聞きしました。法話では五観の偈を詳しく説明してくださいました。「食べる」ということは人にはなくてはならないもので、色んなものや人のおかげで成り立っていることを改めて知ることができました。



普段は忘れがちになってしまいうことが多くありますが、感謝の気持ちを常に持っていきたいと思いました。次の日の朝は、座禅、お参りがありました。朝5時からという早い時間から始まりましたが、Mちゃん(小4)は誰よりも早く起きていて、逆に私を起してくれました。準備もてきぱきとできており、感心してしまいました。

座禅は去年と合わせ2度目でしたが、正しくできていたかは分かりませんでした。時間はあっという間に過ぎた感じがしたので集中できていたのかもしれませんが。長時間の正座になりましたが、幼児2人も小学生も静かにできていました。また、お経も声を出して読むことができおり、普段のお参りが身についているんだなあと感じました。

今回の旅行を通して子どもたちのわくわくした表情や楽しそうな表情をたくさん見る事ができました。中には県外に行ったり、遠くに出かけたりするのが初めての子もいたので、全てを新鮮に感じていてこちらまでうれしくなりました。とても思い出に残る二日間になりました。

## 可睡齋修行の旅

まごころホーム K・S

11月23・24日に一泊二日の修行の旅に行きました。今年で第四弾となる修行の旅は、静

岡県にある可睡齋に行きました。子どもたちは事前に可睡齋とはどんな歴史があるのか、どんな修行を行うのかを聞いていたので、ワクワクと緊張を感じている様子でした。

当日を迎え、バスで可睡齋までいきました。可睡齋を初めて見たときは想像より大きく修行への気が更に引き締まりました。初めに開講式を行いました。可睡齋の歴史について詳しくお話を聞き、修行中でのマナーや合掌・低頭のやり方などを学んだ上で修行に入りました。今まで、体の角度や手の位置など細かい部分を意識していなかったのが改めて知ることができて良かったです。その後には薬石(夕食)をいただきました。



食事の作法について教えていただき、自身の食事のあり方を見直すことができました。そして1日の最後に法話を聞きました。私たちが普段食べている食事は必ず誰かの命を頂いていること、食材の命はもちろん育ててくれている方々やその食材を私たちのもとに届けている方々への感謝を忘れてはいけないと教えていただきました。他にも、誰も苦手だと感じる人がいるけれどその人にも必ずいい所があること、苦手だけに囚われずその人の良い所を見つけることが大切だと教えていただきました。子どもたちも真剣に話を聞いており、私自身とても心に残りました。そして研修一日目を終えました。

二日目は坐禅と朝課を行いました。寒い中でしたが、子どもたちは最後まで集中して取り組んでいました。慣れないこともあったと思いますが、子どもたちの集中力はすごいなと感じました。修行が終了した後は、三保の松原を観光したり、お昼を食べたり、お土産を買ったりと楽しみました。とても有意義な一泊二日になりました。

この修行の旅での経験が子どもたちにとって更なる強みになったと感じます。また、まごころホームには修行の旅に初参加の子もいました。大変ではあったと思いますが、最後まで頑張っており成長した姿を見ることができました。今後の生活にこの経験を活かしてこれからも子どもたちと共に頑張っていきたいです。

## 可睡齋の修行の旅

あおぞらホーム TK

11月23日・24日に、第4回目となる修行の旅が行われ、私にとって初の修行の旅となりました。今回の目的地は静岡県袋井市久能にある曹洞宗秋葉総本殿可睡齋という、徳川家康公と縁のあるお寺ということで、歴史好きな私としてはどんなことが学べるのか期待に胸を膨らまして

いました。



そして、それは子供たちも同様で、普段の生活ではなかなか体験できない貴重なお寺での時間を一緒に過ごすことができました。特に驚いたのは、子供たちは担当してくださったお坊さんが話す礼儀作法や五観の偈の由来について話を真剣に聞いており、食事の準備・後片付けなども指示待ちではなく率先して行動できていたことです。また、朝は5時には起きて準備し、寒

い中1時間ほど行われた朝課、作務の廊下掃除もしっかり行っており、愛育園での生活がここに来て子供たちの立派な態度につながっており、私は子供たちのことを誇らしく感じていました。この修行の旅が、子供たちの今後の成長に良い影響を与えることを心から願っています。

#### 可睡齋 修行の旅 あおぞら児童感想

今年で4回目となった旅行。今年には静岡県可睡齋というお寺に修行に行き参りました。自分が可睡齋で思い出に残った事を5つ紹介していきたいと思います。

1つ目は食事の事です。修行のごはんでは肉や魚などは使わず、野菜などを使って食べている事がわかりました。また、修行僧さんは食べている時も、その野菜や米を作った人に感謝しながら食べている事を聞いて僕もそのように取り組んでみました。



2つ目は夜の自由時間です。修行とだいぶズレてしまいますが、夜の時間に皆でトランプやカードゲームをしたのですがみんなや先生とコミュニケーションをとりながら遊べて、僕にとっては最高の時間でした。

3つ目は坐禅です。修行といったら坐禅ですが、4回目ともなると、心を落ち着かせ無にする事もわりと早くできました。

4つ目は朝課です。僕達も毎日朝のお参りをやっていますが、それとはまた違う雰囲気でした。読めるお経と一緒に大きな声で読めて良かったです。

5つ目は作務です。作務というのはお掃除の事です。長い廊下を隙間なく掃除する事ができました。

2日目には静岡といえばの富士山を見る為に三保の松原に行きました。右に海、左に松、そして真ん中に富士山というまさに絶景を見て嬉しかったです。

僕は中学3年生で受験を控えており、とても大変な時期が控えているんですが旅で経験した楽しい事、プラスになった事を今の生活に活かしていければいいなと感じています。

1泊2日の旅は、最高の旅になりました。



(中3 H.K)

11月23日と24日にバスで可睡齋に行きました。可睡齋では、トイレや浴司などは静かにするという事を学びました。そして可睡齋では修行のことなどいろいろな事を学びました。2日目に三保の松原に行きました。三保の松原では、富士山と海など美しい景色がみれました。昼にはエスパルスドリームプラザに行きました。エスパルスドリームプラザではお土産や大道芸などいろんな思い出ができました。

(小6 Y・K)

11月23日と24日にバスで可睡齋に行きました。トイレや浴室では黙ることや、合掌低頭をすることを知れて良かったです。五観の偈の意味をくわしく知れて良かったです。坐禅で欠気一息や左右揺振などを知れて良かったです。作務はろう下がとてもながくてとても大変でした。幸せ不幸せなどの意味を知れて良かったです。カレーやコロッケがとてもおいしかったです。富士山はとてもきれいでした。エスパルスドリームプラザでおみやげでいろいろなものを買えて良かったです。そばはとろろ汁がはいっていてとてもおいしかったです。三保の松原の海はとてもきれいでした。大道芸の披露はとてもすごくてびっくりしました。可睡齋



の夜の景色はイルミネーションなどでとても景色がきれいでした。作務でそうじをしたらいつもよりもそうじを頑張ろうと思えたので、ふだんからそうじをがんばってやりたいです。

(小5 A・Y)

### 可睡齋修行の旅 まごころ児童感想

11月23日から24日に可睡齋へ修行の旅に行きました。可睡齋に着いたら、広い部屋があってそこでルールを教えてくださいました。食べる時は正座をして食べました。おかわりの時は、みんな手を止めて待っていました。夕食の後は法話がありました。法話は、五観の偈のお話をしてくれました。たとえば、自分が嫌っている物や人でも、物や人が悪いのではなくて、自分が悪くて、見方を変えればもっと仲良くできる事などを教えてくださいました。法話が終わったら、お風呂

に入りました、お風呂は、三黙道場の一つです。他にも、トイレや食事をするところも三黙道場です。でも私は、お風呂でMちゃんとめっちゃ喋って、すっかり喋っちゃいけないことを忘れていました。

2日目は坐禅とお参りをしました。お焼香をやった時、修行僧の人達が読んでいたお経がとても速くて迫力があってすごいと思いました。

今回は園長先生と一緒に行けなかった

から、来年は一緒に行きたいなと思いました。とっても楽しかったし、おもしろかったし、勉強になったなと思いました。

(小5 K・Rさん)

静岡県にある可睡齋に修行の旅として1泊2日行きました。私は、名前を聞いたことがなくて、最初はどこだろうと思っていました。可睡齋にはバスで行き、6時間くらいかけて行きました。途中の浜松SAでお昼ごはんを食べました。私は一皿にそばとラーメンが入っているものを食べました。とてもおいしかったです。

2時30分くらいに可睡齋に到着しました。少し歩いたところにあり、想像していたよりとても大きかったです。中はとてもきれいで階段と床がとてもツルツルですべて転ぶかと思いました。開講式がありました。開講式ではお坊さんに可睡齋のことについてのお話がありました。私が一



番不思議に思ったことは、絶対に話してはいけない3つの部屋があるということです。どのお寺もその3部屋は話してはいけないという決まりがあると知ってびっくりしました。もし私がそこ



に住んでいたら絶対に耐えられなくて歌でも歌っちゃうなと思いました。夜ご飯は、私はずっと精進料理だと思っていたけど、カレーとジャガイモのコロッケと柿とりんごが出ました。とてもびっくりしました。カレーには豆とこんにやくが入っていて、肉はなく、こういうものもあるんだなと思いました。とてもおいしかったです。

夜ご飯の後は、法話がありました。法話の中で一番心に残ったのは、好き嫌いをしてはいけない、ということ

です。肉や魚などは、私たちと同じように生きているものの命をいただいて毎日食べていると思うと、とても感謝の気持ちをもって食べることが大事だと学びました。

2日目の朝は5時に起きて坐禅をしました。朝で少し眠かったけど集中して坐禅に取り組むことができました。朝ごはんはおかゆと切り干し大根でした。その次に長い廊下を雑巾がけしました。朝から動けてとても気持ち良かったです。

このあとは、三保の松原に行きました。着いたときに見た景色は、海の上に富士山がいる感じでとても素晴らしかったです。帰りはとても疲れていたため、バスで寝ました。

2日間楽しい修行ができてよかったです。



(高1 Y・Tさん)



11月23日、24日に静岡県袋井市にある可睡齋へ修行をしに行きました。今年で4回目の修行の旅で、今回もとても楽しい思い出を作ることができました。修行では、坐禅をしたり、朝のお参り「朝課」をしました。4回目ということでだいぶ坐禅にも慣れてきて、自分の心を落ち着かせることができましたと思っています。特に印象に残っていることは、夕食「薬石」です。修行といったら精進料理だ

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

とおもっていましたが、「カレー」でした。「今日の夕食はカレーです」と言われた時は本当にびっくりしました。すごく嬉しかったです。旅行 2 日目は、富士山世界文化遺産の構成資産に登録されている三保の松原に行きました。海がとってもきれいで富士山も近くで見れたということがすごく良かったです。次に、エスパルスドリームプラザに行きました。昼食を食べたり買い物をしたり楽しく過ごすことができました。この 2 日間本当に楽しかったし、たくさんの思い出を作ることができました。可睡齋での修行を忘れず、今後の園の生活や学校生活に活かしていきたいと思えます。

(高 2 S・R さん)

## 防災訓練

あおぞらホーム F・K

11 月 30 日に円福寺愛育園防災訓練を行いました。円福寺愛育園では毎月避難訓練を行っていますが。今回の防災訓練では、篠ノ井消防署の方をお招きし避難訓練に加えて、応急手当・搬送法訓練と初期消火訓練を行いました。

応急手当・搬送法訓練では、災害時などにケガをしてしまった際にどのように出血を止めるのか、骨折したらどのように固定するのかということ消防署の方に見本を見せてもらいながら教えていただいたり、ケガをした人を運ばなくてはいけないという状況になった時、身の回りにある毛布や椅子などを使って搬送する方法を教えてくださいました。

初期消火訓練では、火事がおきたときの消火器を使った消火の方法を実際に体験しながら教えていただきました。その際、消火の手順はどのように行うのか、どのようなことに注意して消火をするのか、消火器をどこに当てなくてはいけないのかなど実際の火事を想定して細かく教えていただきました。

今回の防災訓練では、篠ノ井消防署の方にお越しいただき、災害時の対応方法について色々と教えていただき、子どもたちも職員も実際に体験しながら学ぶ事ができました。今回の経験を忘れず、今後もし災害が起こった時に正しい行動ができるよう活かしていければと思います。

## あおぞらホームだより

あおぞらホーム S・K

寒さが身に染みる季節となりました。子どもたちは「寒い、寒い」と言いながらも、元気いっぱい過ごしています。

11 月 23 日と 24 日の二日間、静岡県にある可睡齋へ 1 泊 2 日の修行体験に行ってきました。この旅では、坐禅やお寺でのマナーを教わり、日常生活ではなかなか得られない貴重な体験をすることができました。非日常的な時間の中で心を整えるひとときを持つことができ、とても充実

(令和 6 年 12 月 10 日発行 月刊「円福」531 号付録)

した旅となりました。

これからますます寒さが厳しくなりますが、体調管理により一層気をつけ、良い年末年始を迎えられるよう努めていきたいと思えます。

## まごころホームだより

まごころホーム N・R

1 2 月となり、本格的に寒い季節になりました。先月、大成功だった愛育園祭が終わり、まごころホームの子どもたちは、やり切った表情や雰囲気がすごく出ていた反面、少し疲れている様子も見られました。ただ、愛育園祭が終わるとすぐに研修旅行があったので子どもたちは次の行事に意識を向けており、研修旅行をとっても楽しみにしている様子がありました。

私は、年中の K さんと F ちゃんと留守番をしていましたが、みんなが帰ってくるなりたくさんのお土産話を聞かせてもらい、私も一緒に行った気分させてくれました。子どもたちが食べたもの、買ったもの等本当に楽しそうに話をしてくれて、M さんに何が一番楽しかったか聞くと、「選べないくらい楽しかった」と教えてくれました。また、今回初めて年長さんも一緒に行き、慣れない場所や空間で緊張していたところもあったようですが、最後まで集団から乱れず楽しめたようなので良かったです。年長の H ちゃん、A ちゃんに感想を聞くと、楽しかった話ももちろんありましたが、可睡齋で教えてもらったこと、知ったことをたくさん話してくれて二人にとってとても良い経験になったのだなと思えました。

園の行事は、行く前と言った後がとても大切で、年が明けてもまだまだ行事は続いていくので、体調に気をつけてしっかり生活していければと思います。

## 調理室だより

調理員 K・Y

平地でも紅葉が色付き、過ごしやすい季節となりました。

11 月 4 日は愛育園祭が行われました。

大勢のお客様が来て下さり、とても盛り上がり素晴らしく楽しい一日となりました。

これから本格的な寒さがやって来ます。

子供達が毎日元気に過ごしていける様に、栄養面にも充分気を配り食事作りに力を入れて、頑張りたいと思えます。

【今月の誕生日メニューです】

5 日…M さん

・クリームドリア・ヤンニョムチキン・ポテトサラダ・キャラメルフラペチーノ

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

(令和6年12月10日発行 月刊「円福」531号付録)

11日…H君

・坦々麺・生姜焼き・サケチーサラダ・チョコレートケーキ

